



第1会場●4F 大研修室

■司 会／平生 孝臣 熊本県教育長社会教育課 社会教育主事
大城 誠一 沖縄県西原町地域教育連絡協議会地域部会 地域部会長

1 地域の教育力を支える公民館の青少年プログラム 13:30～13:55

村田 郁子 (長崎市) 長崎市教育委員会生涯学習部生涯学習課 社会教育主事補

学校5日制は休日の過ごし方や学力低下の心配を惹起こした。市内18の公民館は、それぞれの公民館自主グループを活性化し、青少年プログラムの選択肢を拡大し、体験・発表の視点から内容・方法を工夫した。結果的に公民館が活性化し、地域の教育機能が充実。副次的にボランティア実践の舞台を創出し、世代間交流を巧まずして実現することにつながった。

2 いきいき子育て “ウィークエンド寺子屋” 13:55～14:20

—家族が創る私塾の挑戦：読み・書き・計算からキャンプ資金稼ぎまで—

原 誠 (島根県益田市) ウィークエンド寺子屋

出発は7家族29名。体験の不足も、学校五日制も、子育ては不安が一杯。しかし、体験のステージづくりは大人の責任。子どものための私塾を作ろう。外の子を見よう。父親も参加しよう。自然を生かし、特技を生かし、知恵を寄せあえば様々な挑戦メニューの創造。子どもはたくましくなりました。役割と責任の分担を学びました。大人も自覚的、協力的、積極的、健康的になり、なにより仲良しになりました。

ティータイム 14:20～14:55

3 地域が創造する4小学校合同総合体験プログラム 14:55～15:20

—ふるさとを学び自然の中で鍛える「安心院子ども教室」—

上鶴 養正 (大分県安心院町) 「安心院子ども教室」実行委員会 会長

発足は2000年。主催は実行委員会。教室は焼き物、竹細工、草木染め、米・花づくり、安心院探険、山賊キャンプ、通学合宿、クッキング、ガイドサービスの9つ。活動場所は安心院の自然、公民館、休校中の分校など。地域の期待が高まり、協力者も増加中。町内4小学校からの募集は、当然子どもも大人も人々の交流を促進する。地域を愛し、自然に親しみ、たくましい子どもを育てたい。

4 学校を拠点とした児童期生涯学習支援総合プログラムの理論と実践 15:20～15:45

—穂波町「いきいきサタデースクール」の学校週5日制対応策—

緒方眞由美 (福岡県穂波町) 穂波町教育委員会 地域活動指導員

学校の協力を得て、活動の主要舞台は学校。子どものために設計され、子どものために整えられた学校環境こそが子どもにとって一番安全。プログラムは子どもと保護者の希望に沿って創造。有料制を導入。「100円で基礎学力の向上と自学自習・基本的生活習慣を！」がスローガン。10人集まれば講座開設。朗誦、計算ドリル、パソコン、英会話、焼き物まで。指導者は地域の人材、留学生など。

5 総括討論 15:45～16:15